

2020 年度

# 事業計画書

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)



東京都市大学グループ  
学校法人 **五島育英会**

## 目 次

### 2020 年度事業計画の概要

1. 東京都市大学	3
2. 初等中等教育学校	4
3. 奨学金等による学生生徒等支援	5
4. 学校間連携	5
5. 人事計画	6
6. 財務計画	7
7. 施設・設備計画	7
8. 収益事業に関する計画	8
9. 内部監査	8

### 設置学校の 2020 年度事業計画

1. 東京都市大学	9
2. 東京都市大学附属中学校・高等学校	11
3. 東京都市大学等々力中学校・高等学校	12
4. 東京都市大学塩尻高等学校	13
5. 東京都市大学附属小学校	14
6. 東京都市大学二子幼稚園	15

## はじめに

東京オリンピック・パラリンピック開催の年を迎え、日本国内では少子化の進行（2019年出生数86.4万人：対前年比5.92%減）やグローバル化のさらなる進展、「第4次産業革命」と言われる技術革新に伴う社会構造の急速な変革が起こっている。また、教育分野においても小学校における新学習指導要領の全面实施をはじめ、「高等教育無償化」の実施、「大学入学共通テスト」への移行等、学校を取り巻く環境が大きく変化する年度となる。

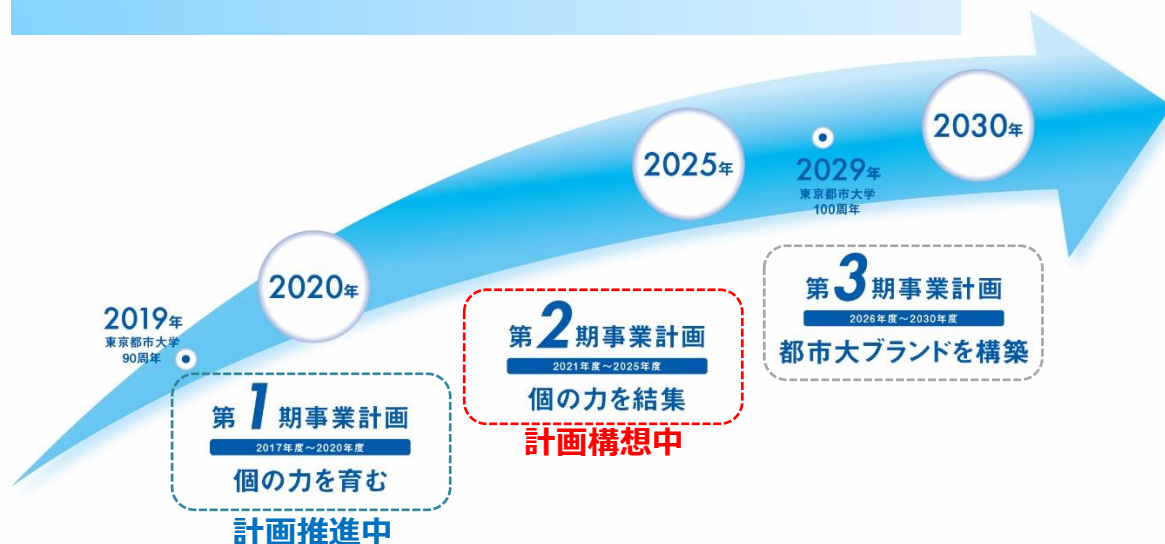
このような社会環境の中、学校法人五島育英会（東京都市大学グループ）では、グループ各校が将来にわたって魅力的な学校であり続けるため、2017年度から2030年度までを3期に分け、2017年度を初年度とする事業方針を策定した。グループ各校は、「個の力を育む」という中期事業方針に基づき立案した第1期事業計画を推進しており、計画は概ね順調に推移している。

2020年度は、第1期事業計画の最終年度であると同時に、「個の力を結集」を事業方針とする第2期（2021～2025年度）スタートに向けた重要な1年であると位置づけ、未来に向かって進化し、つねにチャレンジする精神で事業計画を展開する。

区分	期間	東京都市大学グループ 事業方針
第1期 事業計画	2017～ 2020年度	各学校が社会に対して圧倒的な存在感を示すことのできる「 <b>個の力</b> 」を育む。 <重点課題> ①教育及び研究の質向上と国際化 ②学生等の付加価値向上と満足度向上 ③レベルの高い入学者の確保 等
第2期 事業計画	2021～ 2025年度	個性強化により、他私学と差別化された各学校の「 <b>個の力</b> 」を <b>結集</b> し、東京都市大学グループとしての「 <b>総合力</b> 」を育む。
第3期 事業計画	2026～ 2030年度	東京都市大学グループとして社会に対して圧倒的な存在感を示すことのできる「 <b>都市大ブランド</b> 」を構築する。

## 東京都市大学グループ

「都市大ブランド構築」に向けた長期事業計画を推進



# I 2020 年度事業計画の概要

## 1. 東京都市大学

本年度は、新たな学部学科体制（7 学部体制）がスタートする。「国際都市東京で存在感を示す有数の私大」を目指し、実行 7 年目となる「アクションプラン 2030」を着実に推進する。

分類	主要計画
1. 教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>■卒業時の質保証の取り組み               <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学的な教学マネジメント<sup>*1</sup>の下で、学生のキャリア形成と主体的学修を基盤とした卒業時の学修成果を重視した教育活動を推進</li> </ul> </li> <li>■海外長期インターンシップの促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップのさらなる充実・拡大を目指し、提携先企業の新規開拓活動の推進</li> </ul> </li> </ul>
2. グローバル	<ul style="list-style-type: none"> <li>■留学プログラムの推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学独自の留学プログラムである TAP<sup>*2</sup>及び TUCP<sup>*2</sup>の継続実施による、グローバル人材育成プログラムのさらなる推進</li> </ul> </li> <li>■海外の大学等との交流システムの構築               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アジア・オセアニア 5 大学連合<sup>*3</sup>」による教育プログラムの実施</li> </ul> </li> </ul>
3. 研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「都市研究の都市大」プロジェクトの推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京圏等を対象にエイジングシティ問題<sup>*4</sup>に関する全学的な学際研究事業「都市研究の都市大」プロジェクトを推進</li> </ul> </li> <li>■外部資金等の獲得の強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・Research Administration Center (RAC) <sup>*5</sup>の活用等により研究支援体制を強化し、「科学研究費補助金」や「大型外部研究資金等」の獲得を強化</li> </ul> </li> </ul>
4. ICT	<ul style="list-style-type: none"> <li>■教育の質保証を中心とした ICT 整備（教学システム更新、教学 IR システム連携）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度本格導入を開始した TCU-FOURCE<sup>*6</sup>の利用拡大</li> </ul> </li> </ul>
5. 施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>■キャンパス再整備事業及び浸水対策工事の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の教育研究を見据えたキャンパス再整備事業の推進</li> </ul> </li> </ul>
6. 運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高大接続改革への対応               <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学者選抜実施要項の変更にもなう対応と「大学入学共通テスト」の導入、入試環境の変化を戦略的施策とした運用</li> </ul> </li> <li>■アクションプラン 2030 の推進管理               <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 2 期事業計画に向けた、効果的な推進体制の検討及び事業計画の見直し</li> </ul> </li> </ul>
7. 認知度向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>■本学のビジョンを浸透させるブランディング活動の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムリーで積極的な広報活動と話題性のある広告宣伝をミックスした戦略的なブランディング活動を展開</li> </ul> </li> <li>■二子玉川夢キャンパスのさらなる活用               <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢キャンコミュニケーション等をはじめとした学生の主体的活動を推進するとともに、地域連携拠点としての運用を促進</li> </ul> </li> <li>■「世田谷プラットフォーム<sup>*7</sup>」の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学、自治体、産業界の 3 者が連携し、世田谷プラットフォーム中長期計画に沿った取り組みの着実な実施</li> </ul> </li> </ul>

※1 大学がその教育目的を達成するために行う管理運営。また、その確立に当たっては、学長のリーダーシップの下で、三つの方針（卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針）に基づく体系的で組織的な教育の展開、その成果の点検・評価を行い、教育及び学修の質の向上に向けた不断の改善に取り組むことが必要。（中央教育審議会「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン」より）

※2 東京都市大学オーストラリアプログラム（TAP）、東京都市大学&カンタベリー大学留学プログラム（TUCP）

※3 デラサール大学（フィリピン）、エディスコワン大学（オーストラリア）、タマサート大学シリントーン国際工学部（タイ）、マレーシア日本国際工科院（マレーシア）と本学の 5 大学で構成された連合体

※4 人だけでなく都市のハードとソフトの高齢化に起因する諸課題

※5 東京都市大学総合研究所における研究・運営に関する事項の研究支援業務及び東京都市大学の学術研究の高度化と研究成果の社会実装を推進することを目的とした研究支援機関。

※6 学生が正課や正課外などの活動で培った経験を登録していくことで、学生の持つ様々な力を可視化し、教職員の支援を受けながら「自己理解と成長」を促す学修支援システム

※7 世田谷区内に所在する複数大学（国士舘大学、駒澤大学、昭和女子大学、成城大学、東京都市大学、東京農業大学）、世田谷区、東急株式会社等の区内産業界が連携し、地域における高等教育・産業界の活性化、さらには世田谷区全体の発展に寄与することを目的とする。

令和元年度私立大学等改革総合支援事業に選定（平成 30 年度に続き 2 年連続）

## 2. 初等中等教育学校

前年度に引き続き、グローバル人材の育成を目指した国際化教育の推進及び主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、アクティブ・ラーニング、電子黒板やタブレット端末等 I C T を活用した特色ある教育プログラムを積極的に推進する。

	主要計画	
	国際化教育	アクティブ・ラーニング及び I C T の活用等特色ある教育
東京都大学付属 中学校・高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国際的に活躍できる人材の育成を目指した、海外・国内研修旅行等の深化・充実</li> <li>■「中3 ニュージーランド短期留学制度」の充実</li> <li>■海外大学進学希望者に対する指導力強化を目指し、教職員の見識を高めるとともに、海外大学進学希望者を対象とした説明会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■プロジェクターや校内無線 LAN を活用した効果的な授業の実践及び教員・生徒双方向授業の検討</li> <li>■アクティブ・ラーニングを通して新しい学力観への対応を推進することを目的とした、教員による積極的な外部研修への参加</li> <li>■タブレット端末を利用した効果的な授業の開発</li> <li>■PC を利用した海外とのオンライン英会話授業の導入・実践</li> </ul>
東京都大学等々力 中学校・高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>■海外大学進学希望者に対する支援の継続</li> <li>■語学研修先のパーシティカレッジ(オーストラリア)からの留学生の受入れ</li> <li>■キルピントングラマースクール(オーストラリア)への10週間留学の実施</li> <li>■模擬国連への出場者の倍増</li> <li>■世田谷南ロータリークラブと連携したインターアクト活動の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■タブレット端末の全校生徒所持に伴う授業支援ソフトの活用</li> <li>■学外関係者向けの ICT 機器を活用した授業公開( ICT フェア)の拡充</li> <li>■国際バカロレア認定校の TOK(知の理論)の研究と段階的实践</li> </ul>
東京都大学塩尻 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>■グローバル時代を生き抜く英語力を身に付けさせることを目的とした、英語授業の改革</li> <li>■海外高校との交流協定の締結及び積極的な国際交流活動の実施</li> <li>■留学生を活用した地元塩尻市との小中高一貫連携活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「校務支援システム」を積極的に活用した、生徒一人ひとりへのきめ細やかな生徒指導、進路指導の実施</li> <li>■電子黒板機能付きプロジェクター及びタブレット端末を全教科で活用した、生徒の興味関心を高める授業の積極的な展開</li> </ul>
東京都大学付属 小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ブリティッシュヒルズ(福島県)における異文化宿泊体験の継続実施</li> <li>■「イングリッシュキャンプ in 成田」、「オーストラリア国際交流プログラム in シドニー」等本校独自の英語教育プログラムの展開</li> <li>■MOA 美術館主催の「日本文化教室」及び「2020 羽田 de 日本文化プログラム」への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■教科指導におけるタブレット端末の効果的な活用方法の研究推進</li> <li>■食育(ミニレッスン)を基盤とした知育・徳育・体育の展開</li> <li>■中学受験指導に関するプログラム、課外補習の充実</li> <li>■プログラミング教育のさらなる充実</li> </ul>
東京都大学二子 幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>■東京都大学グループのグループメリットを活かし、東京都大学等々力中学校・高等学校等のネイティブ教員による英語教育の充実</li> <li>■年少から年長まで、機器を活用した毎日の英語活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■東急グループ(東急スポーツシステム)との連携による水泳指導と課外教室の実施</li> <li>■パソコンによる幼児教育に関わる教材開発の研究</li> <li>■二子玉川ライズ菜園等での収穫野菜を使用した調理活動による食育の推進</li> </ul>

### 3. 奨学金等による学生生徒等支援



【部活動への奨励】

「五島育英基金」や「曾祢奨学基金」等の各種奨学基金により、東京都市大学グループ各校に在籍する学生・生徒等の奨学、顕彰及び部活動や特色ある教育活動の奨励等を行い、有為な人材の育成、教育研究の振興及びグローバル化の進展を図りつつ、前年度に引き続き、既存の奨学基金の有効活用やその効果の検証を行い、より効果的な奨学金制度を目指し運用する。

また、東京都市大学グループ各校が展開する魅力と特色ある教育活動を推進するため、「五島育英会夢に翼を奨学金」により、東京都市大学留学プログラムや海外インターンシップ等のグローバル人材育成事業への支援、社会的価値向上に貢献するような活躍が期待される部活動への奨励等を積極的に行う。

さらに、東京都市大学大学院において 2019 年度から運用を開始した「五島育英会東急グループ奨学金」により、国際社会において先導的役割を果たす人材育成を目指す。

### 4. 学校間連携



【東京都市大学ラグビー部による東京都市大学附属小学校児童へのタグラグビー指導】



【東京都市大学横浜キャンパスにて 1 年間の研究成果を発表する東京都市大学塩尻高校「探究コース」の生徒】

これまでの東京都市大学と附属 3 高校との連携による附属進学制度及び単位認定制度を実施し大学・高校間の円滑な接続を図る「高大連携」をはじめ、東京都市大学教員による附属高校での出張授業、スポーツや芸術分野の部活動連携、学園祭共同活動等、グループメリットを活かした学校間連携をさらに充実させる。

東京都市大学と東京都市大学二子幼稚園との「幼大連携」については、東京都市大学人間科学部の学生が二子幼稚園のイベント等のサポートや運営手法を学ぶ学生サポーター制度に加え、教授陣による児童教育に関するノウハウを活用した幼稚園教諭対象の研修会、保護者対象の講演会の実施等、より緊密な連携を図る。

また、東京都市大学と東京都市大学塩尻高校との協働による高大連携プログラムである「探究コース」の充実に加え、東京都市大学グループ校教職員間での ICT リテラシーや危機管理対策の研修・情報交換会等を実施する。これらにより、東京都市大学グループとしての総合力を高める。

## 5. 人事計画

### (1) 職員配置

さらに魅力ある学校づくりを推進し、高いレベルでの教育スキルの維持・向上に努めるよう、2020年度の人員を以下のとおりとする。

#### [教育部門]

	専任職員	兼務教員	合計
教育職	514名	519名	1,033名
技術職	34名	—	34名
事務職	200名	—	200名
合計	748名	519名	1,267名

※専任職員の前年比…教育職:4名増、技術職:1名減、事務職:2名増

#### [収益部門]

	職員
法人本部事業推進部収益事業課	3名
東急自動車学校	92名
合計	95名

※職員の前年比…法人本部事業推進部収益事業課:1名減、東急自動車学校 5名増

### (2) 人材育成

事務職員においては、東京都市大学グループ中期事業方針の目標達成に参画する組織づくりに向けた取り組みと、東京都市大学グループの将来を担う「自律的行動人材」の育成を中心とした研修を実施する。

初等中等教育学校等の教育職員に対しては、個々の職員の授業力・指導力等、資質向上に向けた体系的な階層別研修を実施し、個々の教育スキルのさらなる向上に取り組む。

## 6. 財務計画

2020年度事業活動収支予算は、経常収入214億42百万円、一方経常支出は前述の諸施策を反映し206億93百万円となり、経常収支差額は7億48百万円の収入超過となる。基本金組入前当年度収支差額は7億17百万円の収入超過となり、基本金94億1百万円を組入後の当年度収支差額は86億83百万円の支出超過となる。

資金収支予算は、東京都市大学世田谷キャンパス再整備事業に61億21百万円、災害復旧6億22百万円、水防対策15億円等の大規模な施設設備投資により当年度支出合計374億45百万円となり、当年度収入合計は施設拡充引当特定資産を67億円取崩し376億7百万円、収支差額は1億61百万円の収入超過となる。



## 7. 施設・設備計画



【東京都市大学世田谷キャンパス完成予想図（予定）】

東京都市大学では、キャンパス再整備事業として世田谷キャンパスにおいて、等々力キャンパス2学部機能を収容する新A棟（仮称）及び主要教育研究施設である10号館の代替となる新B棟（仮称）の新築工事に着手する。また、2019年10月の台風による水害を受けた施設の復旧工事を継続するほか、浸水対応を中心とした対策工事を実施する予定である。

その他グループ各校においては、施設設備の適切な維持管理を行うとともに、特色ある教育研究を推進していくための環境整備を進める。



## 8. 収益事業に関する計画



【五島育英会ビル】

### (1) 不動産賃貸

テナントビルである五島育英会ビル（東京都渋谷区道玄坂）は現状満室稼働しているが、内外装の維持管理に努め、テナントの満足度向上を図り、収益力向上を目指す。

また、野川ビル（川崎市宮前区野川）は社員寮として一棟貸ししている状況であるが、適切な維持管理に努め、居住者の満足度向上を図る。



【東急自動車学校】

### (2) 東急自動車学校

安定的な利益計上を実現し、収益事業としての東京都市大学グループへの貢献を図る。主な施策は以下の通りである。

- ①私立学校厚生事業連絡会（私厚連）との提携をはじめとする各大学との連携強化を契機とした営業拡大強化による、主力顧客である大学生の集客拡大
- ②高齢運転者の増加を捉えた、高齢者講習の効率化による集客拡大
- ③警視庁より受託する鮫洲・府中試験場における高齢者講習業務の確実な実施

## 9. 内部監査

内部監査規程に基づき、業務運営及び会計処理の適法性及び妥当性を公正かつ客観的に検証・評価し、監査結果に基づく助言及び提言を行うことにより、法人の健全かつ円滑な運営に資することを目的とし、監査を実施する。

## II 設置学校の 2020 年度事業計画

### 1. 東京都市大学

#### (1) 重点事業計画

① 留学プログラムの推進

本学独自の留学プログラムである TAP 及び TUCP の継続実施による、グローバル人材育成プログラムのさらなる推進

② 「都市研究の都市大」プロジェクトの推進

東京圏等を対象にエイジングシティ問題に関する全学的な学際研究事業「都市研究の都市大」プロジェクトを推進

③ 本学のビジョンを浸透させるブランディング活動の推進

タイムリーで積極的な広報活動と話題性のある広告宣伝をミックスした戦略的なブランディング活動を展開

#### (2) 教育目標

公正・誠実さと自己研鑽力をもち、「都市」に集約されるような複合的課題に取り組むことができ、多種多様なボーダーを超えて新たな価値を見出すことで持続可能な社会の発展に貢献できる人材を育成する。

#### (3) 卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施、入学者受入れの方針の概要

① 卒業認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

東京都市大学は、本学の教育理念に基づき、所定の単位を取得し、以下の知識・能力等を修得した学生に対して卒業を認定し、学士の学位を授与します。

（自ら学ぶ力）

1. 主体的・自律的に学び、自己研鑽できる。

（課題を探究する力）

2. 「都市」に集約されるような複合的な課題に対してグローバルかつ未来志向の視点で取り組むことができる。

（ボーダーを超える力）

3. 多種多様なボーダーを超えて知識や考え方を共有し、新たな価値を見出すことができる。

（協働する力）

4. 公正・誠実に多様な人々と向き合い、柔軟に粘り強く協働することができる。

（実践する力）

5. 人類文化と社会を理解し、基礎的および専門的な知識とスキルを身につけ、それらを総合して持続可能な社会の発展に貢献することができる。

② 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

東京都市大学は、卒業認定・学位授与に関する方針を達成するために、以下のように教育課程を編成・実施します。

1. 「大学における学び方」を理解するため自校教育を含む初年次教育を実施する科目を配当するとともに、教育課程を通じて主体的・自律的な学習教育を実践する。

2. 学生が自らの知力と人間力を総合し、多様な知識・スキルを持った人々と協働して、複合的課題の設定とその解決にグローバルかつ未来志向の視点で取り組むための科目を配当する。

3. 実践的な英語スキルを含むコミュニケーション力およびチームワーク力を身につける科目を配当する。

4. 建学の精神「公正・自由・自治」を理解するとともに、専門に関わる倫理を理解・実践する力を含む人間力を身につける科目を配当する。

5. 多様な教養科目と、専門の基礎から応用までの知識とスキルを身につける科目を配当する。

### ③ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

東京都市大学は、持続可能な社会発展をもたらすための人材育成を目的とし、その目的を達成するための学術研究の領域ごとに学部を設置しています。各学部では、それぞれ定めた「人材養成および教育研究上の目的」に基づき、以下のような能力・意欲・目標を持つ人を求めます。

1. 大学教育に求められる「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を持つ人
2. 当該学部学科の学術研究領域に対する強い関心と意欲に基づき、自ら学ぶ姿勢を持つ人
3. 教育研究を通じて身につけた幅広い視野と専門的学識により、持続可能な社会発展に寄与する人材となることを目標とする人

### (4) 教育活動

#### ① 卒業時の質保証の取り組み

全学的な教学マネジメントの下で、学生のキャリア形成と主体的学修を基盤とした卒業時の学修成果を重視した教育活動を推進

### (5) 研究・研修活動

#### ① 外部資金の獲得等の強化

Research Administration Center (RAC) の活用等により研究支援体制を強化し、「科学研究費補助金」や「大型外部研究資金等」の獲得を強化

### (6) 産学連携・地域連携・学校間連携・東急グループ連携等

#### ① 「世田谷プラットフォーム」の推進

大学、自治体、産業界の3者が連携し、世田谷プラットフォーム中長期計画に沿った取り組みを着実に実施

### (7) 施設・設備計画

#### ① キャンパス再整備事業…世田谷キャンパスにて新A棟・新B棟新築工事着手

#### ② 災害復旧事業、浸水対策事業…世田谷キャンパスの台風被害復旧及び浸水対策工事の実施

#### ③ 横浜キャンパスにおける大規模修繕（防水・空調・エレベータ・LAN等）の実施

### (8) 特別計画

#### ① 海外長期インターンシップの促進

インターンシップのさらなる充実・拡大を目指し、提携先企業の新規開拓活動の推進

#### ② 海外の大学等との交流システムの構築

「アジア・オセアニア5大学連合」による教育プログラムの実施

#### ③ 教育の質保証を中心としたICT整備（教学システム更新、教学IRシステム連携）

昨年度本格導入を開始したTCU-FOURCEの利用拡大

#### ④ 高大接続改革への対応

入学者選抜実施要項の変更にもなう対応と「大学入学共通テスト」の導入、入試環境の変化を戦略的施策として運用

#### ⑤ アクションプラン2030の推進管理

第2期事業計画に向けた、効果的な推進体制の検討及び事業計画の見直し

#### ⑥ 二子玉川夢キャンパスのさらなる活用

夢キャンコミュニケーター等をはじめとした学生の主体的活動を推進するとともに、地域連携拠点としての運用を促進

## 2. 東京都市大学附属中学校・高等学校

<p><b>(1) 重点事業計画</b></p> <p>東京都市大学の附属校として東京都市大学グループ各校との連携を図り、男子中高6ヵ年完全一貫教育体制を確立し、進学校としての大学進学実績の成果を飛躍的に高め、社会的に高い評価を得るとともに広報活動を活発に行い、中学入試において高学力な生徒の定員確保に努める。</p>
<p><b>(2) 教育目標</b></p> <p>① 東京都市大学グループの一員として、校訓に掲げる「誠実・遵法・自主・協調」の精神により、健全な精神と豊かな教養を身につけ、国際社会で活躍する有為な人材を育成する。</p> <p>② 豊富な体験に裏打ちされた確かな学力を身につけ、やがて直面する大学進学を確かなものとし、さらに、その先の社会人・職業人として活躍できる豊かな社会性・自主性・道徳心を備えた人材を育成する。</p>
<p><b>(3) 教育活動</b></p> <p>① 授業、平常補習、長期休暇中の講習、学習合宿等既存の学習プログラムの充実</p> <p>② 放課後の外部講師による大学受験対策講座の設置等、新たな学習プログラムの構築</p> <p>③ 教員・生徒双方向の授業の実践に関する検討の深化</p> <p>④ PCを利用した海外とのオンライン英会話授業の導入・実践</p> <p>⑤ 国内・海外研修旅行の充実及び海外大学進学希望者への指導強化による、国際的に活躍できる人材の育成</p>
<p><b>(4) 研究・研修活動</b></p> <p>① 教員研修制度の整備・改善による授業力の向上</p> <p>② 各年度研修の活性化による指導力の向上</p> <p>③ 研修成果を教育改善・向上に結びつけるための指導体制の確立を図る方策の探求</p> <p>④ 教員の外部研修会への積極的な参加による、新しい学力観（大学入試制度）への対応の推進</p>
<p><b>(5) 産学連携・地域連携・学校間連携・東急グループ連携等</b></p> <p>① 東京都市大学グループ学校間連携事業の促進</p> <p>② 附属進学制度受験希望者の増加及び同制度合格者における学習意欲の持続に向けたプログラムの実施</p>
<p><b>(6) 施設・設備計画</b></p> <p>① 校内施設・設備の適切な維持管理</p> <p>② 校舎内照明設備 LED 化工事を行い、省エネルギー化を推進</p>
<p><b>(7) 特別計画</b></p> <p>① ICT 環境整備及び ICT を活用した授業の拡大、先進的な授業の検討・導入</p> <p>② 人物・学力ともに優れた生徒を対象とした「特別奨学生制度」の導入による、さらなる優秀な人材の獲得</p>

### 3. 東京都市大学等々力中学校・高等学校

<p><b>(1) 重点事業計画</b></p> <p>新学習指導要領・入試改革に通底する IB 認定校のコア・カリキュラムである TOK(知の理論…反転授業の手法を取り入れたアウトプット型授業)、EE(課題論文)、CAS(創造性-活動-奉仕)の手法を委員会組織で研究し、各教員が教育活動を実践できるようにする。また、その教育効果を広報することにより、よりレベルの高い生徒を獲得し、上位クラスへの移行を目指す。</p>
<p><b>(2) 教育目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 第1期事業計画期間を「等々力改革第2ステージ」として、等々力中高の教育の充実期という意識を共有して職務に当たる。</li><li>② 五島慶太初代理事長の「熱誠」とノブレス・オブリージュ<sup>※1</sup>の教育(「自由と規律」・「武士道」を含む)との融合を完成させ、個々の教職員が教育活動全般に広く活用できるようにする。</li><li>③ アクティブ・ラーニング(AL)活動と ICT 活動を取り入れながらも知識集約型の高度な授業レベルを確保する。</li><li>④ グローバルな視点での教育と伝統文化の教育やそれを支えている日本独特のものを感じ方・見方の双方を大切に作る学校風土を作り上げる。</li><li>⑤ 進学校の評価を盤石にする。</li></ol>
<p><b>(3) 教育活動</b></p> <p>これまでの道徳教育活動を体系化した冊子「体験し・調べ・考え・議論する一都市大等々力の道徳1」を完成させ、五島慶太先生の自校教育や、注力している ESD<sup>※2</sup>を進める。また、これまで研修を積み重ねてきた、AL 活動(ジグソー法)やタブレット活用法を授業で実践することで、生徒の学びの姿勢を一層強化する。</p>
<p><b>(4) 研究・研修活動</b></p> <p>TOK 推進委員会を 6~8 名で組織、手法について研究する。</p>
<p><b>(5) 産学連携・地域連携・学校間連携・東急グループ連携等</b></p> <p>世田谷南ロータリークラブとの関係強化を図ることにより、東南アジアを中心に、世界 20 か国から留学生を招き、母国の風土や歴史、自身のキャリアプランを語る刺激に富んだワークショップ(クロスカルチャー講座等)を充実させる。</p>
<p><b>(6) 施設・設備計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 校内施設・設備の適切な維持管理</li><li>② 新館校舎内の照明設備 LED 化工事、特別教室の空調設備工事等</li></ol>
<p><b>(7) 特別計画</b></p> <p>大学入試改革で求められる活動履歴(ポートフォリオ)について、授業・学校行事と関連付けて自己の成長を記録していくことを目指し、高校1年生と中学3年生で先行して取りまとめ、フォーマット化する。また、その結果を踏まえ、各学年に展開していく。</p>

※1 誇り高く高潔な人間性を陶冶すること。

※2 文部科学省が提唱する「持続可能な開発のための教育」「持続可能な社会作り」の担い手を育む教育のこと。  
(Education for Sustainable development)

## 4. 東京都市大学塩尻高等学校

<p><b>(1) 重点事業計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 基礎学力の定着度の確認・分析、個別指導等の充実による、国公立・難関私立大学への進学率の向上</li><li>② 東京都市大学、県内企業及びハローワーク等との連携強化及びキャリア教育の充実</li><li>③ 世界各国からの留学生の積極的な受け入れ、海外語学研修等によるグローバル教育の実施</li><li>④ 新たな高大接続及び新学習指導要領に対応した教育課程の作成による、教育内容の充実</li><li>⑤ 東京都市大学グループ各校及び東急グループ各社との連携を模索し、行事等を実施することによる、本校ならではの魅力の発信</li></ol>
<p><b>(2) 教育目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 高い学力・受験力の育成 学力の向上を目指し、教育システムの構築を行う。入学時偏差値を引き上げ、卒業時偏差値を国公立大学合格レベルまで引き上げる。</li><li>② 学力中位層向け指導の充実 手厚い指導により、学習への意識付けを行う。また知的で達成感のある学校行事を通じて、豊かな学園生活や居場所、自信と誇りを持たせる。さらに満足できる進路実現を全面的にサポートする。</li><li>③ 全国レベルのクラブ活動と人間力の育成 地区外・県外からの生徒受け入れも視野に入れ、強化部（野球・サッカー・女子バレーボール）を中心として全国大会で活躍し、東京都市大学グループの名を全国に広める。また、生徒自らも部活動を通じて人間力の育成を行う。</li><li>④ ICT教育の充実に向けた校内の施設整備と職員の研修実施 タブレットを活用した授業体系の構築に向けた教員の研修会の開催</li></ol>
<p><b>(3) 教育活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 国公立大学現役合格者輩出に向けた、「国公立大学進学」プロジェクトの継続実施（特別選抜類型）</li><li>② 学力中位層のレベルアップに向けた施策の充実（文理進学類型）</li><li>③ 体系化した学校行事による、楽しく達成感のある行事活動の実施を通じた、自主自立精神の育成</li><li>④ 文化系部活動の活性化と加入率の向上</li></ol>
<p><b>(4) 研究・研修活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 新大学入試に向けた指導力向上と教員の質向上の研修</li><li>② 学力中位層の授業理解力向上と授業規律の徹底を目指した授業研究の実施</li><li>③ 授業アンケート分析結果のフィードバック及びその改善</li></ol>
<p><b>(5) 産学連携・地域連携・学校間連携・東急グループ連携等</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 探究コースにおける東京都市大学教授陣との協働</li><li>② 東京都市大学との遠隔授業の促進と研究協力による連携</li></ol>
<p><b>(6) 施設設備計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 校内施設・設備の適切な維持管理</li><li>② 実験実習棟の防水工事、無線 LAN 環境の増設等</li></ol>

## 5. 東京都市大学付属小学校

<p><b>(1) 重点事業計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 中学受験指導に関するプログラム及び課外補習の充実（理科受験対策講座・数学中学準備講座の実施） 算数習熟度と国語特別講座の教員引継ぎを完璧にする。</li><li>② 常に志願倍率「5倍」以上を目指す募集対策及び教育プログラムの開発</li><li>③ 制服変更・課外スクール（華道・茶道・英語等）等施策による女子応募者のさらなる確保</li><li>④ 本校独自の英語教育の確立</li><li>⑤ 東京都市大学との小大連携事業の検討・充実</li></ol>
<p><b>(2) 教育目標</b></p> <p>二期4ステージ制を導入したことにより、ダイナミックに教育を展開し、児童の高い学力と豊かな心をしっかりと育成し、国際的な素養を有しつつ、都内屈指の名門校と評価される学校づくりをめざす。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 児童が楽しんで勉学や生活に勤しめる安心できる学校づくり</li><li>② 児童自ら目標を定めて計画し、進んでものごとを解決しようとする態度の育成</li><li>③ グローバル化等、新しい時代に対応した教育計画を常に実現する学校づくり</li></ol>
<p><b>(3) 教育活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 4教科の学力向上に向けた施策の実施（教科指導法や教材精選に関する研究時間の確保等）</li><li>② 算数習熟度別学習及び国語特別講座の充実</li><li>③ メディアルーム及び各教室の情報機器の有効活用に向けた整備 ・教科指導におけるタブレット端末の効果的な活用方法の研究推進 ・プログラミング教育のさらなる充実</li><li>④ 体験学習の充実（三國シェフ食育プロジェクト、Bunkamura オーチャードホールでの音楽発表会、日本各地における宿泊学習及びまめ記者講習会実施等）</li><li>⑤ 自主的・主体的な姿勢を育むことを目的とした縦割り活動の充実（体験学習、係活動及び児童会等）</li><li>⑥ グローバル化に取り組む学校イメージの強化 ・オーストラリア国際交流プログラム・成田イングリッシュキャンプ等 ・「日本文化教室」及び「2020 羽田 de 日本文化プログラム」への参加</li></ol>
<p><b>(4) 研究・研修活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 効果的な指導法や受験指導体制に関する継続的な研究及び実践</li><li>② 全教科に関する年間指導計画の作成及び検証</li><li>③ 日本私立小学校連合会や東京私立初等学校協会等の外部団体が主催する研修会への積極的な参加</li><li>④ 新任(初任)者研修の一層の充実（東初協初任者研修実務実習校予算の獲得、校長講義の充実、初任者研究授業の充実（ハイレベルの振り返り協議会の充実））</li></ol>
<p><b>(5) 産学連携・地域連携・学校間連携・東急グループ連携等</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 東京都市大学との連携（大学ラグビー部による本校タグラグビークラブの指導継続）</li><li>② 地域及び東京私立初等学校協会加盟校との連携に関する研究推進</li></ol>
<p><b>(6) 施設・設備計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 校内施設・設備の適切な維持管理</li><li>② 電話交換設備、機械警備・監視カメラ設備の更新等</li></ol>
<p><b>(7) 特別計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 本校ホームページ及び東京私立初等学校協会ホームページ（本校掲載ページ）の刷新</li><li>② 進学指導（受験指導）及び入試情報の共有等を目的とした父母教室の開催</li></ol>

## 6. 東京都市大学二子幼稚園

### (1) 重点事業計画

- ① 「建学の精神」に基づいた「目指す子ども像」の育成に向けた保育・教育活動の研究・実践
- ② 国際化教育の充実を図るための ICT 英語機器の活用及びネイティブによる英語活動の実施
- ③ 変貌を遂げる二子玉川の街に居住の方から愛され信頼される幼稚園の実現
- ④ 魅力ある教育活動等の発信等、広報活動の充実による安定的な定員の確保
- ⑤ 防災・防犯、園内事故防止に係る設備・備品等の検証及び整備による安全面のさらなる強化

### (2) 教育目標

- ① 文部科学省「幼稚園教育要領」に沿った「あそび」を中心とした幼児教育による知育・徳育・体育の「三育」を進める。
- ② <子どもは、「あそび」を通して得られる生活体験の豊かさによって、あらゆることに興味・関心を持つ心が育まれ、心身ともに、健康と賢さに満ちた子に育つ>という観点を大切にしつつ、毎日「課題あそび」と「自由あそび」を組み合わせることで集団行動ができる子、個性を伸ばせる子を育てる。

### (3) 教育活動

- ① 毎日の「課題あそび」と「自由あそび」に加え、四季折々の園行事や学年行事を組み合わせる多様かつメリハリのある教育の展開
- ② 「知育・徳育・体育」の三育に「食育」を加えた教育活動の推進
- ③ 東京都市大学グループ各校及び東急グループ各社と連携した教育活動の深化
- ④ 子育て支援の社会ニーズに応えることを目的とした長期休業中における預かり保育の充実
- ⑤ 「子どもの発表会」等の行事製作物の有効活用による業務改善

### (4) 研究・研修活動

- ① 園分掌組織の研究・編成・実施・検証
- ② 救急・救護に係る研修会への全員参加、資格取得の推進
- ③ 子どもの活動を促し、導く教師としてのあるべき姿の検証

### (5) 産学連携・地域連携・学校間連携・東急グループ連携等

- ① 東京都市大学人間科学部との連携（教育アドバイザー・学生サポーター制度）
- ② 東京都市大学等々力中高との連携（科学体験教室）
- ③ 東京都市大学附属小学校との連携（ネイティブ教員による国際化教育）
- ④ 東京都市大学総合グラウンドとの連携（広場あそび・マラソン大会）
- ⑤ 東急グループ各社との連携（水泳指導・課外教室）



### (6) 施設・設備計画

- ① 園内施設・設備の適切な維持管理
- ② 園庭用スプリンクラーの設置及び園庭西側の一部人工芝化







 東京都市大学グループ  
 学校法人 **五島育英会**

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-10-7 五島育英会ビル 8 階

本学の情報は下記の Web サイトでもご覧いただけます。

本法人 Web サイト

<https://www.goto-ikuei.ac.jp/>

事業計画書・報告書 Web サイト

<https://www.goto-ikuei.ac.jp/10hjin/20data/plan.html>

無断転載を禁止します。